

信愛館だより

Vol.135
2021年1月号

発行／ケアハウス信愛館
近江八幡市北之庄町492-2
TEL／0748-32-2220
FAX／0748-33-7555
http://www.shinaikan.com
Mail／vories@zb.ztv.ne.jp

みよ、兄弟達が一つになって共に住むことは、
（詩篇133の1）
なんというしあわせ、なんという楽しさであろう



「良き変化への時」

社会福祉法人近江兄弟社地塩会
理事長 亀山 謙四郎

明けましておめでとうございます。

今年は昨年からのウイルスによる世界的な大混乱が終わりの兆しも見せぬままスタートしました。世界が変化し、戻る事のない変化であるかもしれません。そのような中、この小さな信愛館も昨年の終わりから施設長が代わり、入居者の皆様をお世話するメンバーも大きく変わりました。

新たな現場長（施設長）の、現在までの医療施設や福祉での長い経験と知識、そして様々な角度からこの施設を見る新たな「目」と行動が新たな改善と入居者の方々の安心や安全、喜びに繋がってゆくことを願っています。このような変化が成長の機会でもあろうかと思えます。成長とは良くないものを正し、新たなものを取り入れ、さらに高度なサービスを提供することでもあると思います。これを機に長らく失われていたものを取り戻し、そして築き、入居者の皆様のより良い生活環境を求めてゆきたいと思えます。

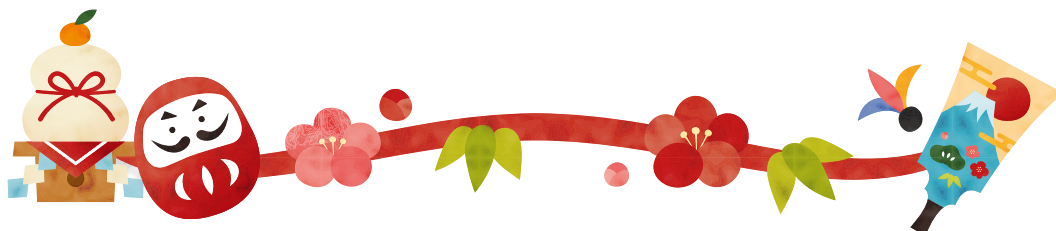
「一視同仁」―誰彼の区別なく、差別することなく誰も平等に愛する―。

長く失われていたもののひとつに、この精神があったと思えます。例えば、財を多く持つ人と少ない人がサービスの差別を受けてはなりませんし、様々な問題での入居者の方々への対応に差があってはなりません。また今、最も気になる事は、入居者の方々の少しずつ変化しているかもしれない健康状態です。少し前に「健康相談室」を設けました。新施設長の医療機関での長い経験が活かせる場です。同じ姿勢で、同じ「心」を以て、相談に来られるお一人お一人の不安が軽減されるべく取り組まれる姿を信じています。そしてもうひとつは、入居者の方々同士の触れ合う機会が多くなり、笑顔に溢れた楽しい会話が弾むような場を設けることを計画しています。脳と身体の活性化が健康・長寿につながることでしょう。

もう少しの間大変な時を耐え、入居者の方々と共に楽しい毎日を迎えたいと思えます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

感謝



キリスト教 あいうえお (2巡目) 「回 心」

近江金田教会牧師 横田 明典

「改心」とは、これまでの行いを反省し、心を改めることです。

同じ発音ですが「回心」は、神に立ち帰る信仰体験の事を言います。

聖書では「パウロの回心」が有名です。それまでは、キリスト教を迫害する急先鋒でしたが、その生き方を180度転換し、キリスト教を伝える側に回りました。

回心は、自分の心を神様に向けるということ、ということになります。道徳的なことと信仰的なこととの違いと言っても良いかもしれません。

非の打ちどころのないような立派な行いをしている人は、改心の必要はありませんが、それは回心とは言えません。逆に、その行いが褒められるような人ではなくとも、神様のことを思い、神様の愛を知り、その神様に感謝することができる人は、回心している人ということになります。

もちろん改心も、回心も、両方できる人であることに越したことはないのですが、神様が望んでおられるのは、むしろ回心の方ではないかと思っています。

◆ 佐川美術館ツアー (10月7日)

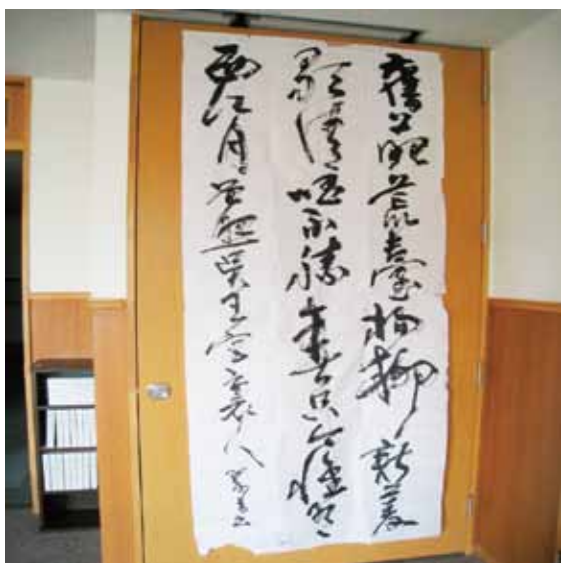


佐川美術館に出かけました。
天気もよくドライブ日和でした。

◆ 第2日目 (10月16日)



◆ 文化祭 (11日9日)



皆様方の作品はどれも堂々としており心情深さを感じる素晴らしい作品です。



◆ 琵琶湖国定八幡山ロープウェイ紅葉ツアー (11月13日・17日)



『綺麗な紅葉と近江八幡の街並みや安土城跡、水郷近江平野が一望できて素晴らしい紅葉ツアーでした。』



◆ クリスマス礼拝 (12月11日)



わぁ～可愛い
サンタさん登場で一す♡
愛情たっぷりの
手づくりケーキです。
♡召し上がれ♡



新春のお喜びを申し上げます。本年も皆様方にとって幸せな一年間になりますようにお祈り申し上げます。さて、去年は新型コロナウイルス感染対策の一年間でした。ここ信愛館でも館内マスクの着用や手洗い、うがい、三密を避け換気に注意して参りました。これからも体調を崩さないように、日々の食事をしっかり摂り、十分な睡眠を得て抵抗力を高め感染防止に努めていきたいと思います。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。

(感謝)

